

5.竜巻に気をつけよう！

沖縄県は竜巻発生率日本一！

夏の海岸線を歩くと水平線の彼方に積乱雲から垂れ下がる竜巻を確認できることがあります。実は、沖縄県は、100km四方あたりの竜巻発生率が9.1個と全国で1番高い地域です。特に夏場は、雷雨や台風、熱帯低気圧の接近に伴って多く発生し、人身被害や飛来物による建物の損壊等が発生しています。



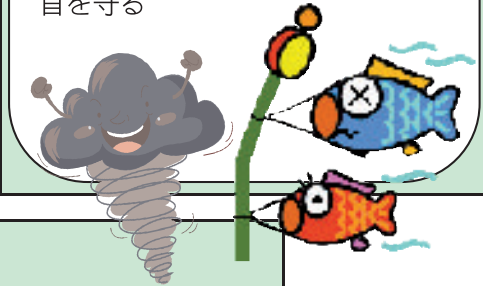
① 竜巻発生の前ぶれ (前兆現象)

- ・黒い雲が近づく
- ・急に暗くなる
- ・雷鳴が聞こえる
- ・雷光が見える
- ・急に冷たい風が吹き出す
- ・大粒の雨や「ひょう」が降り出す



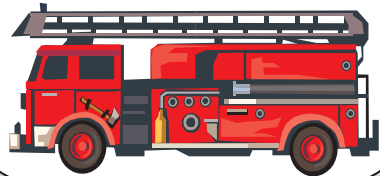
② 建物の中(屋内)にいる場合

- ・窓を開けない
- ・窓から離れる
- ・カーテンをひく
- ・建物の最下階に移動する
- ・地下室や建物の中心部の窓のない部屋に移動する
- ・部屋の隅、ドア、外壁から離れる
- ・頑丈な机の下に入り、両腕で頭と首を守る



③ 建物の外(屋外)にいる場合

- ・車庫、物置、プレハブを避難場所にしな
- ・橋や陸橋の下に行かない
- ・近くの頑丈な建物に避難する
- ・頑丈な建物が無い場合は、近くの水路やくぼみに身をふせて、両腕で頭と首を守る
- ・飛来物に注意する



④ 竜巻注意情報

平成20年3月26日から沖縄気象台では、竜巻注意情報を発表しております。竜巻注意情報は、積乱雲の下で発生する竜巻、ダウンバースト等による激しい突風に対して注意を呼びかける気象情報です。竜巻等の激しい突風は規模が小さくまた寿命も短いことから、現在の観測・予測技術では事前に情報を発表することは限界があります。しかし、「竜巻注意情報」の発表されている時は従来の雷注意報が発表されているときに比べ数十倍も高い確率で竜巻が起こる可能性がありますので、上手に利用することにより、いざという時の身の安全に役立ててください。

⑤ 竜巻はいつ起こるの？

積乱雲は、雲の中に強い上昇気流を伴っており、その上昇気流が地表付近にできた渦を上空に引きのばし、竜巻が発生します。



竜巻が発生しやすい気象条件！

- ・台風に伴う竜巻(台風の進行方向の右前方で発生しやすい)
- ・低気圧や前線(寒冷前線や梅雨前線)に伴う竜巻
- ・寒気の流入に伴う竜巻



6.不発弾を見つけたら！



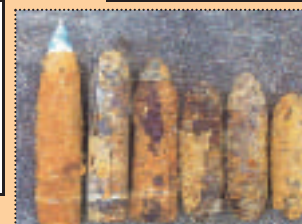
戦後60年、なおも残る不発弾！

第2次世界大戦において、熾烈な地上戦の場となった沖縄は戦後60年余を経過した今日においても不発弾の発見件数は依然として高い水準にあり、今なお多くの不発弾が埋設していると推定されております。長い時間を経ておりますが、その殺傷力、破壊力は全く変わりなく極めて危険であり、私たちの命と生活を脅かすものとなっております。不発弾による事故を無くすため、発見した際は、最寄りの交番か市役所へ届け出るよう市民の皆様のご協力をお願いします。

不発弾って何??

「不発弾」とは、戦争の時に使われた砲弾や、航空機から投下された爆弾等で、地上や海に落下したが、発火せず“不発”となったもの、あるいは、その疑いのあるものを一般に不発弾と呼んでおります。このような不発弾は、起爆装置(信管)の安全装置が外されており、何らかの衝撃で何時でも発火装置が起動(作動)する状態にあることが予想され非常に危険です。また、長い年月によって風化され、姿、形が変わりましてしまい、見分けがつかない場合もあります。

① 市内で発見される主な不発弾



② 不発弾を見つけたら (不発弾かな?と思ったら)...

「さわらないで！」最寄りの交番、又は市役所に届けましょう！



陸上で



海中で

